

仏事の知識

襪子と足袋

法要儀式の時に僧侶の足もとをよく注意して見て下さい。指の別れていない靴下式で小鉤のついた白い履き物を着用していません。襪子(べっす・しとつず)と言いつつ中国禅宗より伝わり、安土桃山に始まり奈良平安時代と日本でも使用されるようになりまし



襪子(べっす)

た。中国は土間の法堂ですので僧侶は法堂沓(はつとつくつ)を履きその下に沓ずれしないように襪子を着用しました。(昔は小鉤でなく足首を紐で結んだもの)現在では寺の本堂は畳ですので沓を履かないで襪子だけ着けています。檀信徒供養、及び特別法要には必ず着用する決まりがあります。足袋は、単皮、単(ひとえ)の皮、指足の割れている履き物で、

草鞋を履くようになってから防寒の為に着け、それが一般に普及し材料も木綿になり、気軽に草鞋に足袋を着けて出かけるようになったようです。江戸時代以降では草履や下駄となり庶民が好んで足袋を用いるようになりまし

新任役員

東本町 高橋秀毅氏

地区世話役員として寺の護持発展にご協力いただくことになりました。よろしくお願い申し上げます。

大本山永平寺法要の旅

大本山永平寺 加賀大乘寺と

京都市内 雄琴温泉

期日 平成二十一年

九月二十七～二十九日

(一泊三日)

宿泊 永平寺 雄琴温泉

会費 五万四千元

*キャンセルが出ましたので5名追加募集致します。お問い合わせ下さい。

梅花だより



H21 大般若奉詠

当寺練習会

九月 九日(水)午後一時～
九月十八日(金)午後一時～

宗務所主催梅花流奉詠大会

期日 十月二十三日

会場 村上市

ふれあいセンター

参加 下越地区梅花講員

人員 七百名

宗務所主催検定会

期日 十一月二十七日(金)

会場 五十公野金蘭荘

*梅花流詠讃歌(御詠歌)を始めませんか!お釈迦さま 道元さま 瑩山さまを讃え、ご先祖様を敬うところを唱えます。

永平寺だより

二男秀孝は師寮寺のお盆手伝いとして他出許可をいただき八月十二日～十六日(五日間)まで久しぶりにお寺で過ごしました。永平寺での生活は二年半になり、現在法堂の殿行でんなん(本堂の法要係)を務めています。九月末の本山参りには法堂で活躍している姿を見ることが出来ます。修行の無事を祈るばかりです。

こども禅の集い終了

七月二十九日・三十日山屋、永徳寺様にて開催されました。参加は小学生六十名、お寺に宿泊し、坐禅、写経、読経、食事作法等、規律の乱れがちな夏休みに貴重な体験をして過ごしました。十七教区寺院主催



お墓のクリーニング屋 鉄人社 TEL080-6742-3202 料金9,000円～

『自然にもお墓にもやさしいエコクリーニング法!』代表 宗村 篤 胎内市村松浜 1119